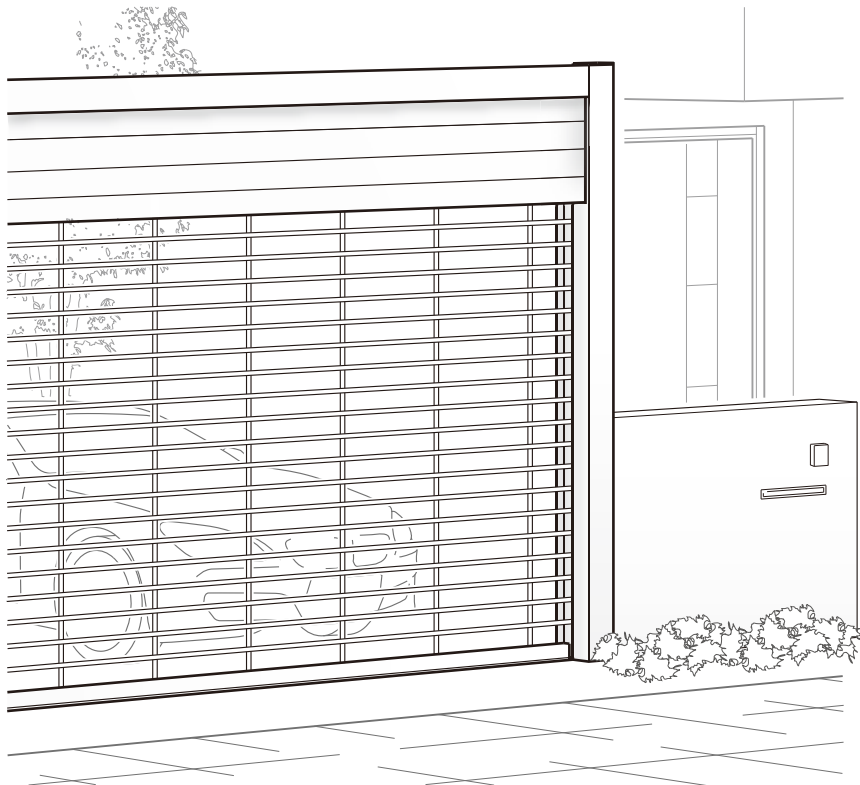


LIXIL

取扱説明書

ワイドシャッター S C・Fタイプ 電動タイプ



この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。



行なってはいけません。



必ず実行していただく内容です。

お願い

取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

もくじ

ページ

安全上のご注意

1

安心・便利にお使いいただくために

4

開けかた・閉めかた

5

●リモコン

5

●手動操作への切替え

5

機能のご説明

6

メンテナンス

7

●シャッターケース

7

●壁ユニット

7

●シャッター

7

●光電センサー

8

●土間

8

●リモコン

8

停電時には…

9

故障かな!?と思ったら

11

修理と保証

12

仕様

13

美しく保つために

14

保証書

15

保証書付き

- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

安全上のご注意

警告

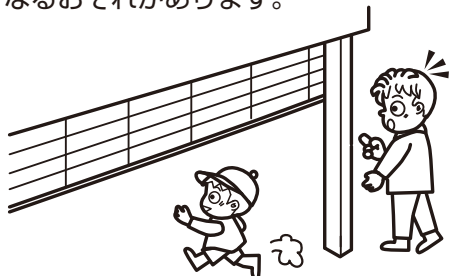
シャッター



禁止

●開閉中の出入り禁止！

シャッターにはさまれ、重大な事故になるおそれがあります。



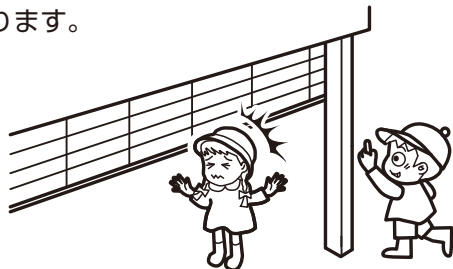
●ぶら下がり、手掛け、足掛け禁止！

誤ってシャッターに巻き込まれるなど、重大な事故になるおそれがあります。



●開閉位置でお子様を遊ばせない！

誤ってシャッターを開閉し、はさまれるなど、重大な事故になるおそれがあります。



●凍結時の開閉禁止！

安全装置が正常に作動せず、はさまれるなど、重大な事故になるおそれがあります。



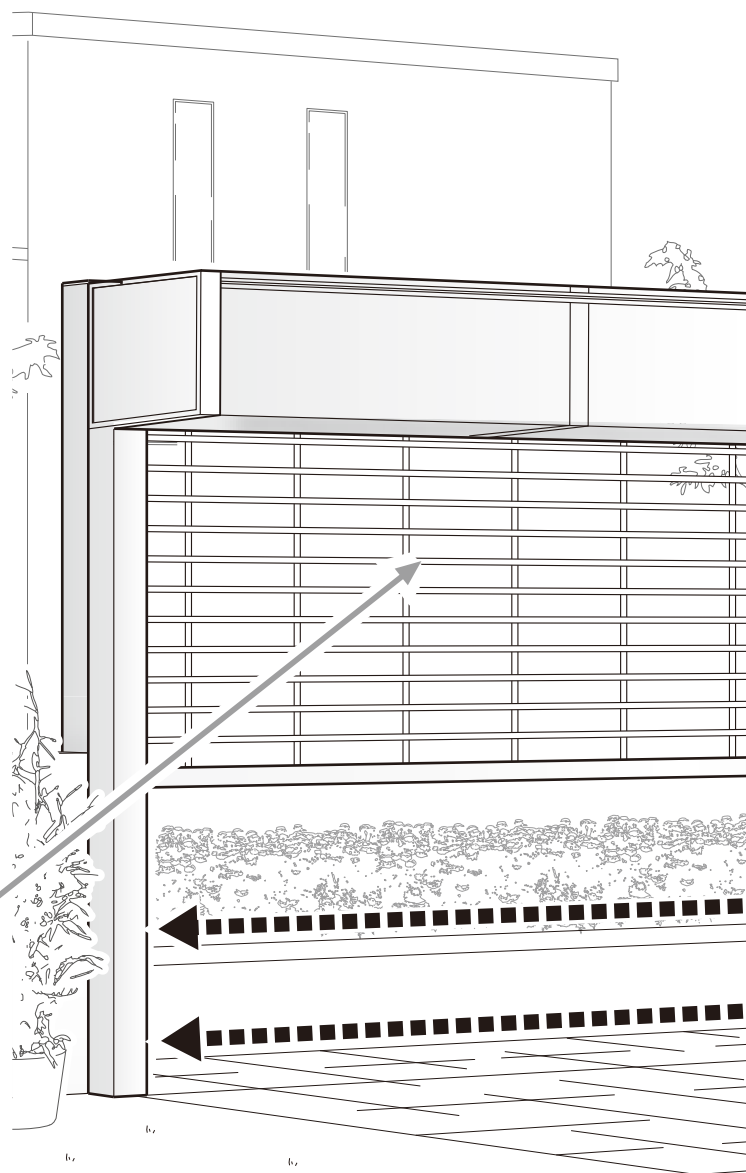
必ず実行

●開閉位置に人や物がいないことを確認！

障害物の大きさや位置により光電センサーが反応せず、シャッターにはさまれ、重大な事故になるおそれがあります。

●開閉が終わるまでその場を離れない！

シャッターにはさまれるなど、重大な事故になるおそれがあります。



警告

リモコン



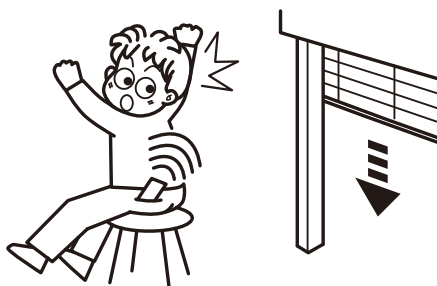
禁止

●お子様の操作禁止！

誤ってシャッターにはさまれるなど、重大な事故になるおそれがあります。

●ポケットには入れない!!

誤ってボタンを押してシャッターが作動し、重大な事故になるおそれがあります。



警告

点検口



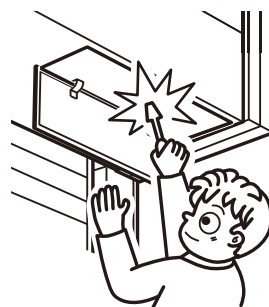
禁止

●手動操作時以外は開けない！

感電し、重大な事故になるおそれがあります。

●手や金属物を差込まない！

感電し、重大な事故になるおそれがあります。



警告

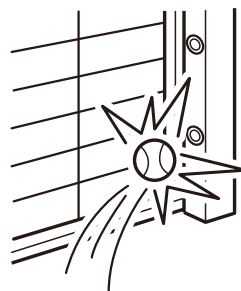
光電センサー



禁止

●強い衝撃を与えない！

故障して安全機能が働かずシャッターにはさまれるなど、重大な事故になるおそれがあります。

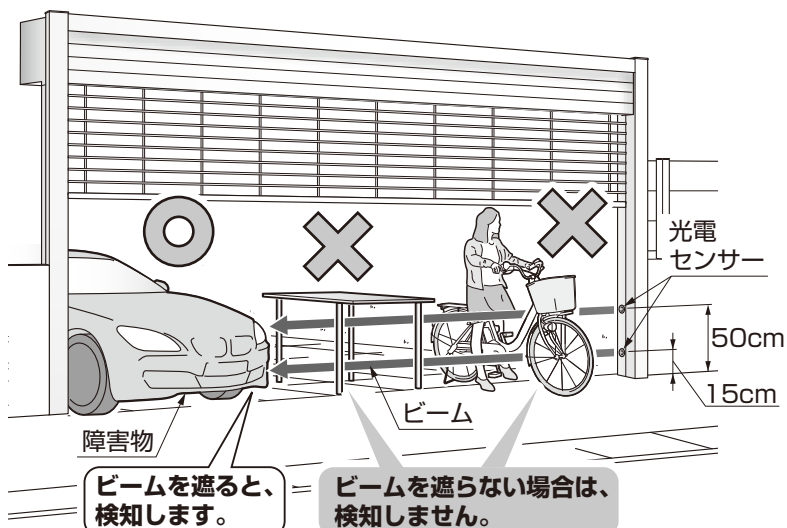


必ず実行

●必ず開閉操作の前に人がいないこと、物がなことを確認してから操作を行う！

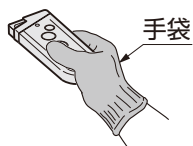
光電センサーはビームを遮ることで障害物を検知します。障害物の位置や形によりビームを遮らない場合があります。重大な事故になるおそれがあります。

特に自動車以外のもの（スクーター・自転車・三輪車・ベビーカー・電動カートなど）については形状がさまざまでありビームを遮らない場合があります。



●手袋をしたまま操作しない！

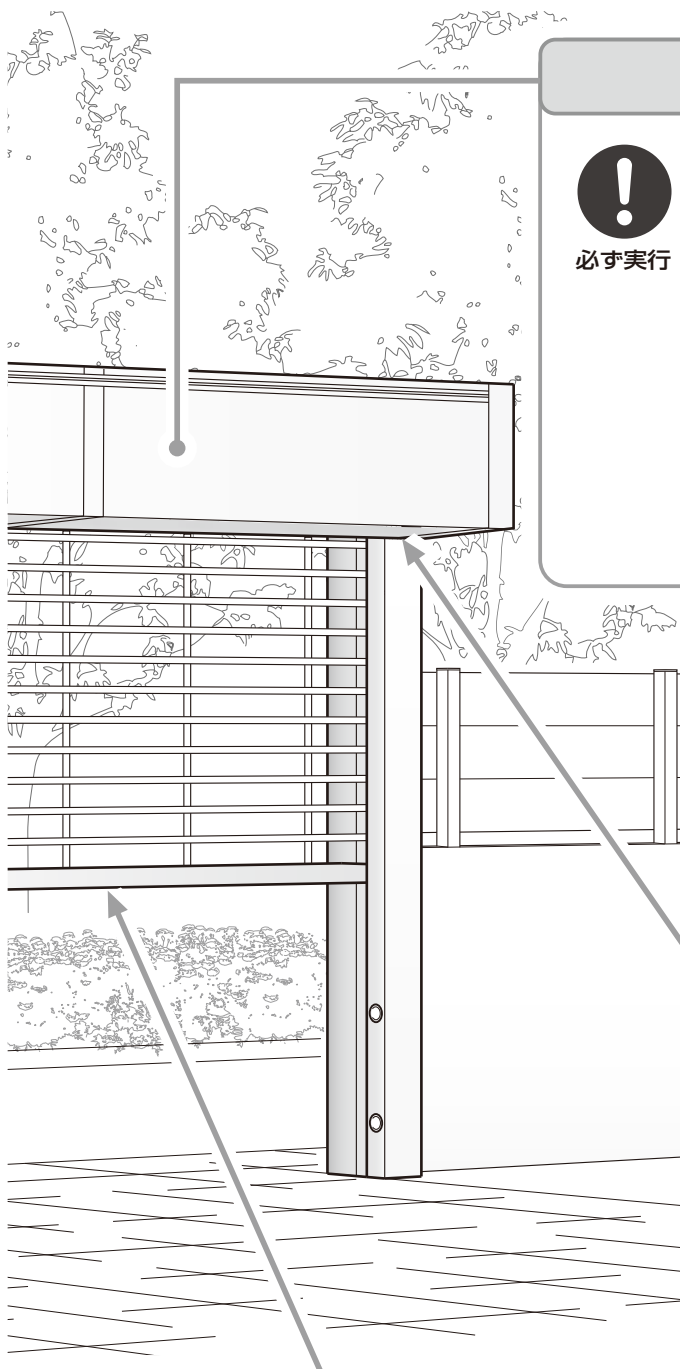
誤った操作をして、重大な事故につながるおそれがあります。



●カバンの中など、他のものと接触するところへ保管しない！

意図せずボタンが押されてシャッターが作動し、重大な事故につながるおそれがあります。





⚠ 注意

シャッターケース



必ず実行

●積雪が20cmを越える前に雪下ろし！

落雪によりケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

点検口



必ず実行

●チェーンは点検口から落ちてこないように収納！

点検口を開けたとき落下して、ケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

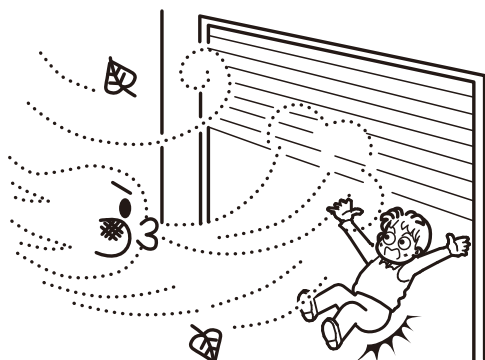
シャッター



禁止

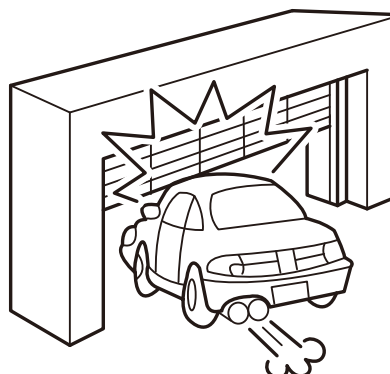
●強風時、無理な開閉をしない！

製品の故障、急な強風が吹き込み転倒など、ケガをするおそれがあります。

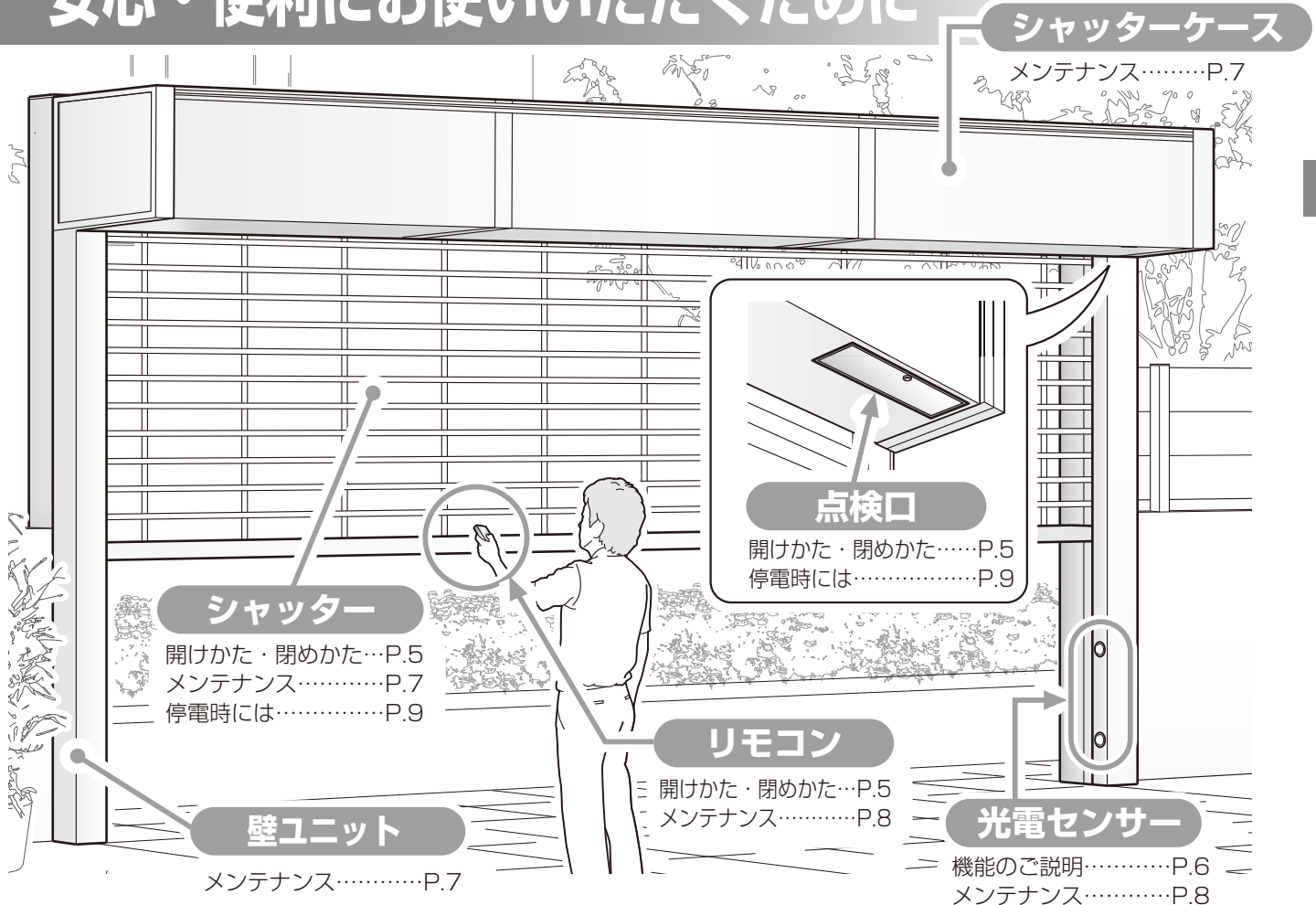


●開ききるまで車を進めない！

シャッターが上がりきらないで、車を進めると車の屋根に接触するおそれがあります。



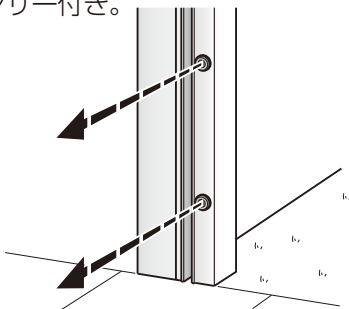
安心・便利にお使いいただくために



安心・便利にお使いいただくために

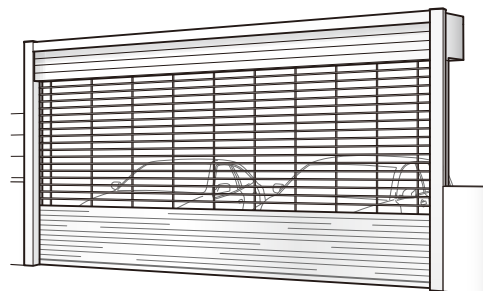
信頼性の高い安全装置！

障害物を感知するとシャッターが自動停止する
光電センサー付き。



ハイリンク

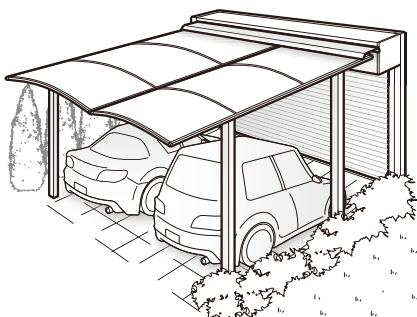
アルミパイプとアルミスラットを組み合わせた
コンビタイプ。



オプション

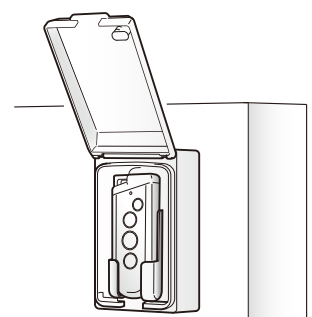
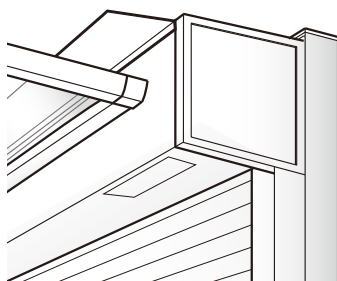
●シャッターひさし

オプションのシャッターひさしを取付けばシャッターケースと
カーポートの隙間からの雨水の入り込みを防ぎます。
※シャッターとカーポートは、接していないため雨の吹き込みなど
により多少、雨水が入り込む場合があります。



●リモコンホルダーカバー

配線を行わずに取付けで
きるため、任意の場所で
押しボタンスイッチにす
ることができます。



開けかた・閉めかた

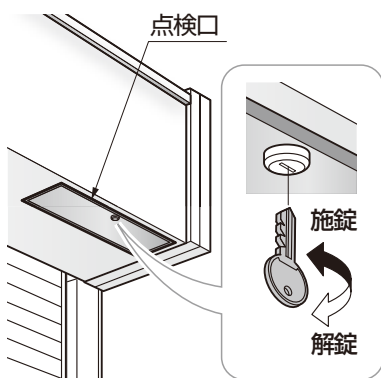
シャッターを開閉するとき…

お願い 無用な連続開閉をしないでください。発熱による自動停止、製品故障の原因になります。

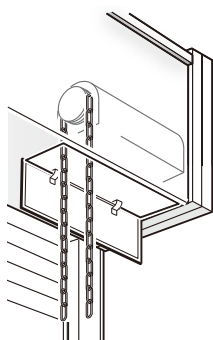
凍結時には…

お願い ・シャッタースラットが水分（雪・結露）や座板が床面の水分で凍結し凍りついたときは、シャッターを前後にゆすって付着した雪や凍結部分を取り除いてください。凍結部分が除去できない場合は、融けるまで待つて操作してください。凍結したまま操作すると、シャッタースラットにキズがついたり、塗膜の剥離を招くことがあります。またスムーズな開閉ができなくなる可能性があります。

手動操作への切替え



点検口内部



お願い ・カギに刻印している番号を控えてください。
カギ番号
紛失時はこの番号で発注してください。

補足 ・点検口はむやみにあけないでください。
・停電時のみ、解錠してください。
・停電時の操作方法は「停電時には…」を参照してください。

リモコン

ONボタン（電源）
最初に押します。

開ボタン
シャッターが
開きます。

停ボタン
作動中のシャッターの
動きが停止します。

閉ボタン
シャッターが閉じます。

到達距離
約20m

リモコンの操作方法

【開ける場合】

- ① ONボタン（電源）を押します。
- ② ONボタン（電源）が点灯している間（5秒以内）に開ボタンを押します。
※全開すると自動的に止まります。

【途中停止する場合】

- ① 停ボタンを押すと任意の位置に止まります。

【閉める場合】

- ① ONボタン（電源）を押します。
- ② ONボタン（電源）が点灯している間（5秒以内）に閉ボタンを押します。
※全閉すると自動的に止まります。

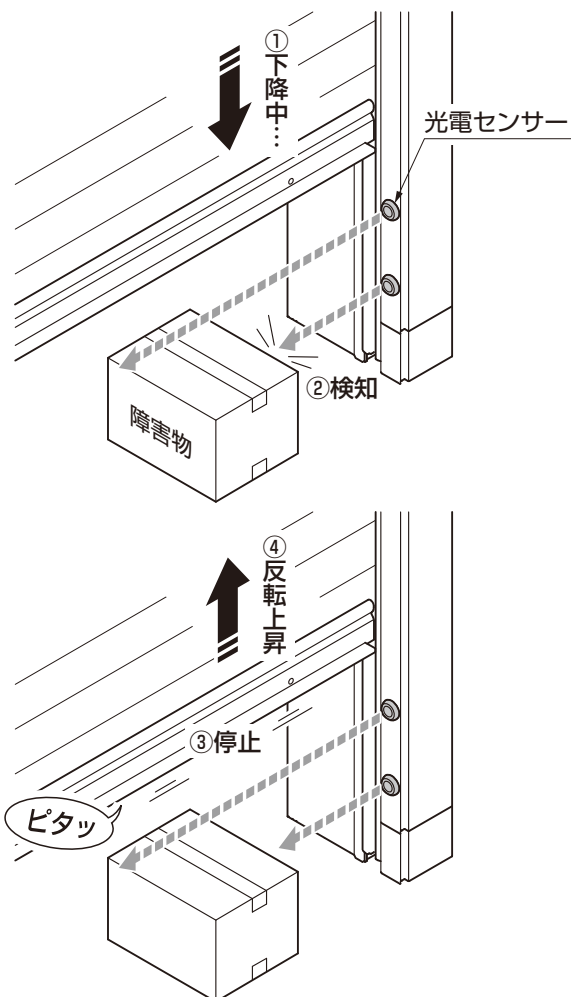
お願い ・ボタン操作は、2秒以上の間をおいてください。頻繁に操作すると一時的に送信できなくなります。
・リモコン裏面のIDコードを控えてください。IDコード
紛失・盗難の際はリモコンの登録を抹消します。販売店までお問い合わせください。
・高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因になります。

障害物検知機能

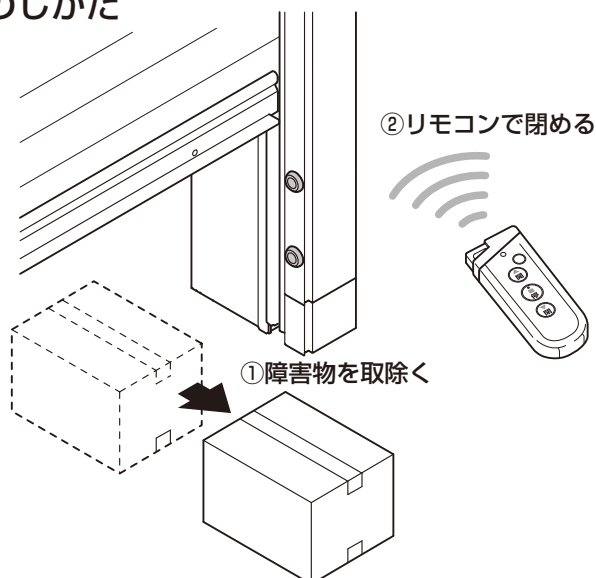
補足

- ・光電センサーのビームをさえぎる障害物があると、シャッターが自動停止する機能です。
- ・光電センサーのビームより下に障害物がある場合は、ビームを遮らないので検知しません。

シャッター下降中に障害物を検知すると…



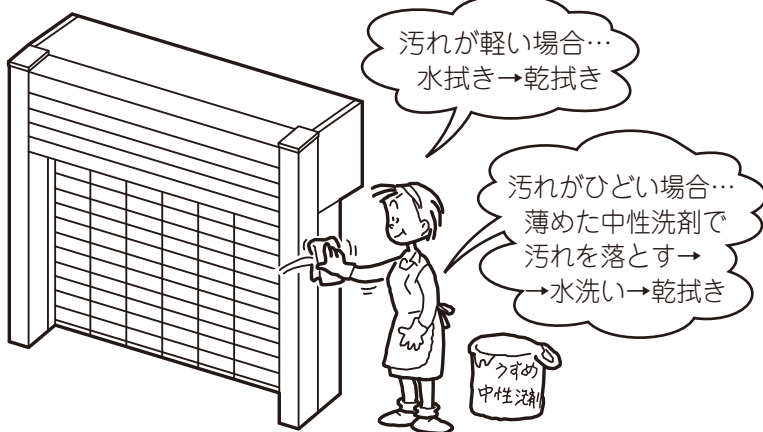
停止後の復帰のしかた



シャッターケース 雪下ろし

お願い 積雪が20cmを越える前に雪下ろしをしてください。
ケースのたわみによりシャッターにキズがついたり
シャッターケースが変形する場合があります。

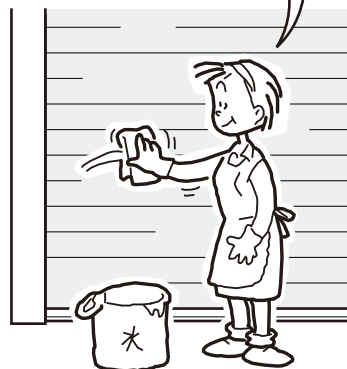
壁ユニット お手入れ：定期的



お願い ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
・シャッターの柱部分に故意に水をかけないでください。
電装品が組込まれていますので、故障の原因となります。

シャッター お手入れ

お掃除回数を目安にお手入れ



ステンパイプスラット／ハイリンクスラットをお買い上げの方

〔1年あたりのお掃除回数〕

湾岸地帯：10～20回
工業地帯：6～10回
市街地：4～8回
田園地帯：2～4回

お願い もらいサビがひどい場合、市販のステンレス用サビ落としクリーナーを使用してください。

アルミパイプスラット／アルミスラットをお買い上げの方

〔1年あたりのお掃除回数〕

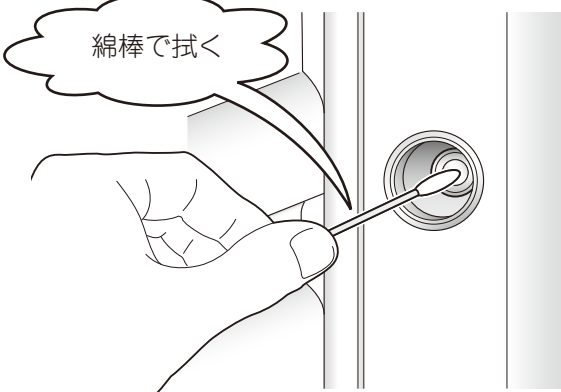
湾岸地帯：1～4回
工業地帯：1～3回
市街地：0.5～2回
田園地帯：0.5～1回

お願い 表面の砂ボコリなどは定期的に水洗いしてください。表面キズの原因になります。

補足 表面に発生した白い粉状のスジは水拭き後、柔らかい布で乾拭きするとキレイになります。

光電センサー お手入れ：月1回

綿棒で拭く

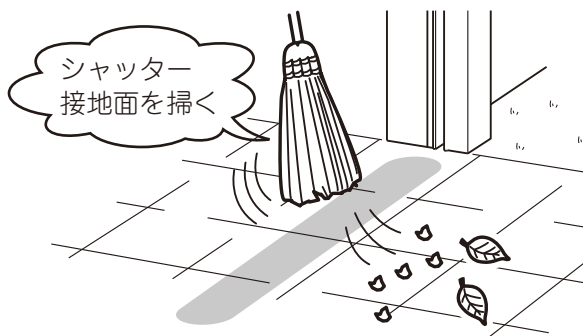


補足 レンズ面が汚れていると、誤った感知をし、シャッターが動かない場合があります。

お願い 水洗いや洗剤・溶剤でのお手入れはしないでください。故障の原因になります。

土間 お掃除：定期的

シャッター
接地面を掃く



リモコン 電池交換

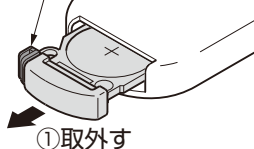
補足

電池交換
サインです！



ONボタンを押した際、送信ランプが早く点滅したら電池が消耗したサインです。

ツマミ

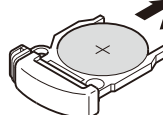


① 取外す

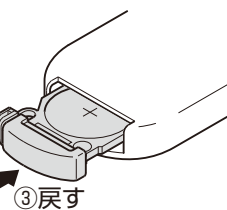
ツマミを押しながら
電池ケースを取出す

＋、－に注意して！

② 交換



電池を交換する



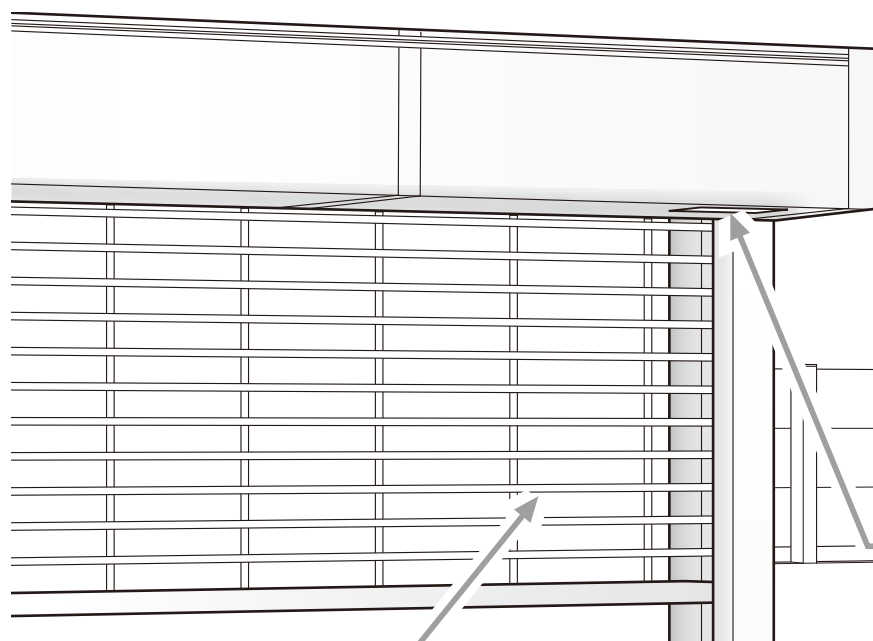
③ 戻す

電池ケースを戻す

お願い 使用期限のすぎた電池は使用しないでください。内部回路の腐食の原因になります。

停電時には…

お願い 停電時に、やむを得ず手動でシャッターを操作する場合は、本手順で操作してください。



シャッター

(3) 手動の開閉操作

電源

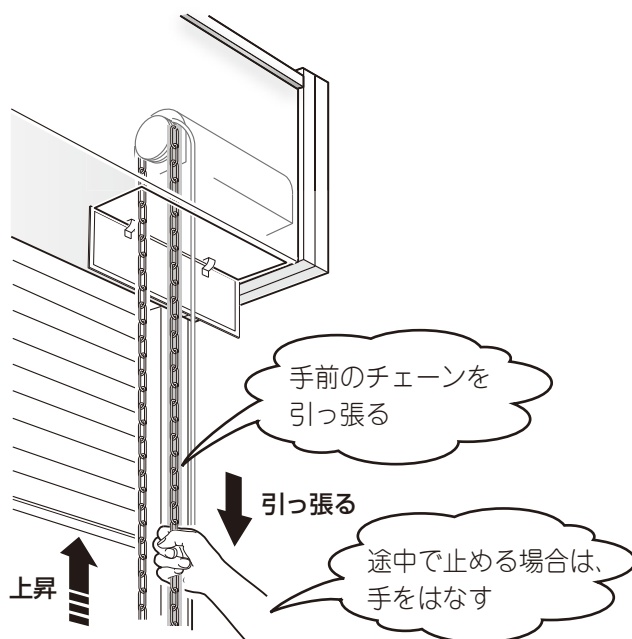
(1) 電源OFF
(5) 電源ON

点検口

(2) 点検口を開ける
(4) 点検口を閉じる

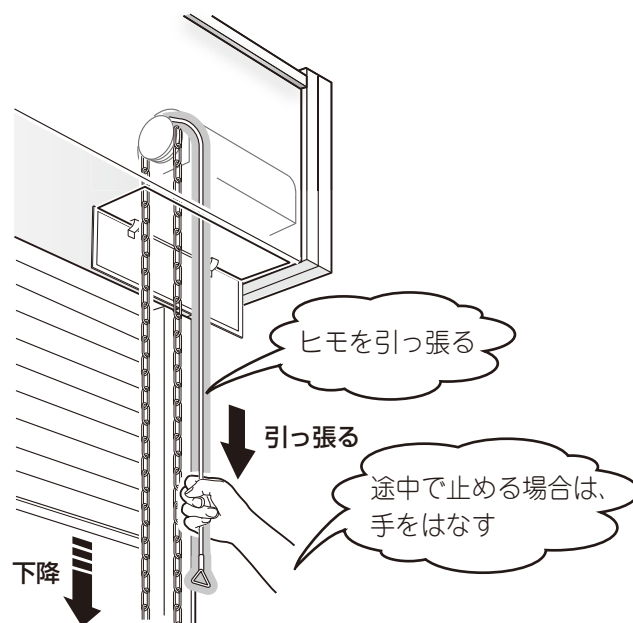
[illegible]

【開ける操作】



お願い 一番上まであげないでください。
あげすぎると、シャッターが破損し、
開閉できなくなるおそれがあります。

【閉める操作】

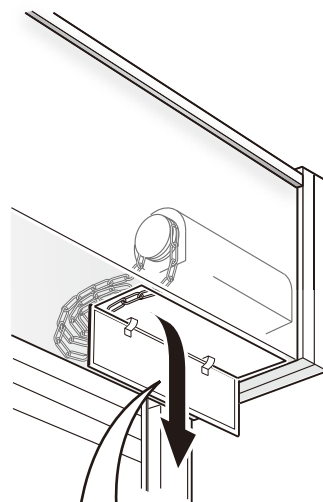


お願い 床に接地したらヒモをはなしてください。

補 足 ・ヒモを引っ張ると、ブレーキが開放されシャッターの重さで下降します。

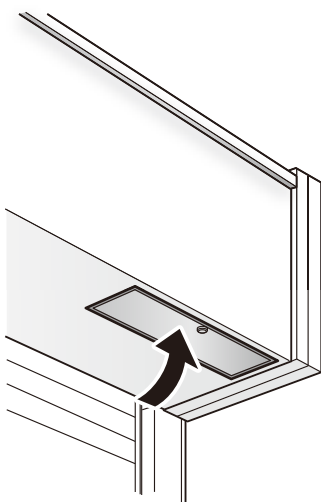
[illegible]

- ・シャッターの電源を切ってください。シャッターに接続されている家側のブレーカーを切ってください。
- ・シャッターケース内のブレーカーは、修理業者が点検・修理の際に使用するものですので、お客様は触らないようにしてください。



- ・点検口の開けかたは「開けかた・閉めかた…」を参照してください。

チェーンと
ヒモを取出す

[illegible]

チェーンと
ヒモを収納する

- ・点検口の閉めかたは「開けかた・閉めかた…」を参照してください。

停電が復歸したら、シャッターに接続されている家側のブレーカーを入れてください。

停電時には：

故障かな!?と思ったら

●製品に異常が生じたときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

事前にお調べください

このようなとき	点 検	処 置
電動で動かない	屋内の電源が入っていますか	屋内の電源を入れてください。
	停電していませんか	手動操作で開閉してください。 (P.9「停電時には…」参照)
	シャッターに接続されている家側のブレーカーが落ちていませんか	シャッターに接続されている家側のブレーカーを入れください。再びブレーカーが落ちる場合は、漏電のおそれがあります。修理を依頼してください。 (P.9「停電時には…」参照)
光電センサーでシャッターが動かない	シャッターの下に障害物がありますか	シャッターの下の障害物を取除いてください。 (P.6「機能のご説明」参照)
	光電センサーのレンズ面が汚れていませんか	光電センサーのレンズ面を清掃してください。 (P.8「メンテナンス」参照)
リモコン操作で動かない	リモコンの電池が消耗していませんか	新しい電池と交換してください。 (P.8「メンテナンス」参照)
	リモコンの電池の向きが間違っていないですか	正しく取付け直してください。 (P.8「メンテナンス」参照)
	実用到達距離の範囲外で操作していませんか	実用到達距離以内で操作してください。 (P.13「仕様」参照)

それでも直らないときは……

●お買い上げの販売店（工事店）または「お客さま相談センター」にお問い合わせください。

設計耐用年数と設計耐用回数

●当商品の設計耐用年数は10年、設計耐用回数は1万回です（年数・回数どちらか早い方）。ただし、設計耐用年数・設計耐用回数は保証値ではありません。「設計耐用年数・設計耐用回数」は、お客様が適切な維持・管理とお手入れを行ない、かつ保守点検専門技術者による定期的なメンテナンスが実施された場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、ばい煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、設計耐用年数および設計耐用回数についての記載数値を満足することは出来ません。また、使用頻度、点検・お手入れなどにより記載数値を満足しないことがあります。

修理と保証

(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日)	1年	2年
電 装 部 品	無 料	有 料
電装部品以外	無 料	有 料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、下記のシャッター専用フリーダイヤルまたはお買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- このフリーダイヤルはシャッター開閉不具合の修理専門です。その他の修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
- お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障における修理連絡先	
商品の修理・故障に年中無休・24時間対応	
フルタイムサービス FTS  0120-3030-17	

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

(5) 交換用部品について

- お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎0120-126-001
にご連絡ください。

シャッター部

使用電源		AC100V (50/60Hz)		
開閉機	型式	ステンレスパイプ・ハイリンク アルミスラット (H23-W51)	ステンレスパイプ (H23-W51) アルミパイプ	アルミスラット (H23-W56) (H26-W51、H26-W56)
	出力	SB20D-2S (2倍速タイプ)	SB10D (2倍速タイプ)	SB20D
	定格電流	200W	130W	200W
	定格時間	3.6A (50Hz) 4.6A (60Hz)	2.8A (50Hz) 2.6A (60Hz)	3.8A (50Hz) 4.6A (60Hz)
	待機時	10分	5分	10分
消費電力	動作時	10W (50/60Hz)	10W (50/60Hz)	10W (50/60Hz)
		400W (50Hz) 500W (60Hz)	280W (50Hz) 280W (60Hz)	370W (50Hz) 450W (60Hz)
開閉時間	H2300	20～28秒 (50Hz) 17～24秒 (60Hz)	20～28秒 (50Hz) 16～23秒 (60Hz)	約47秒 (50Hz) 約40秒 (60Hz)
	H2600	22～30秒 (50Hz) 19～26秒 (60Hz)	約29秒 (50Hz) 約24秒 (60Hz)	約50秒 (50Hz) 約42秒 (60Hz)
周囲温度		-10℃～+40℃		
周囲湿度		RH85%以下		
操作方法		リモコン×3		
安全装置		光電センサー×2組		
環境条件		沿岸部、科学工場などの腐食性環境・粉塵発生環境を除く		

リモコン

形式		RAX・H35
規格名		特定小電力無線局テレメーターおよびテレコントロール用無線設備（STD・T67）
コード数		100万通り
到達距離		到達距離 20m 電波の届く距離は、地形・建物・環境などの条件により、プラス、マイナス方向に大きく変化します。
使用周囲温度・湿度		－10℃～＋60℃・85％RH以下（ただし、結露、氷結のないこと）
応答時間		0.5秒以下
基本性能		リモコンの「開」「停」「閉」ボタン操作により、電動シャッターなどを開放・閉鎖・停止することができます。 （ただし、シャッターを停止させた場合は2秒以上間をおいてから次の操作をしてください。）
リモコン	質量	約30g
	電源	C R2032型リチウム電池（3.0V）×1個
	電池寿命	約1年（4回／1日）

※本リモコンは特定小電力機器です。(証明規則第2条第1項第8号無線設備)
このため電波を連続して送信できない制限 (送信時間制限) があります。

(1) アルミ製品

- アルミスラットは開閉によりスラット表面のクリア塗装がはがれ、白い粉がでますので濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

(2) ステンレスパイプシャッターおよびステンレス製品

- ステンレス材はさびにくい材料ですが、絶対さびない材料ではありません。しかも、通常ステンレス材は素地のまま（塗装なし）で使用しますので、清掃も頻繁に必要となります。
- 初期のさびであれば薄めた中性洗剤で汚れを落とし、水洗い後、乾拭きしてください。
- さびがひどい場合はステンレス用さび落としの専用クリーナーを購入してください。また、専用クリーナーをご使用の際は注意書きをよく読んでからご使用ください。

〈さびについて〉

- ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されているからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるのでさびが発生することがあります。したがってステンレスは決して「さびない」ものではなく、むしろ「さびにくい」金属と言えます。
- さびが発生するのは、例えば次のような場合です。
 - ・塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
 - ・海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合（注意）
 - ・ばい煙、塩酸、排ガス、温泉蒸気、火山の噴煙などが付着した場合
- その他、ステンレスがさびる要因として、「もらいさび」と言われるものがあります。「もらいさび」とは、例えば鉄くぎのさびが表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによってさびてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身がさびたように見える現象です。
- さびがひどい場合はステンレス用さび落としの専用クリーナーを購入してください。この場合、表面にこすりキズつくことは避けられません。「もらいさび」が落ちない場合は、さびが進行してステンレス自身にさびが生じたものと考えられます。
- いったん発生したさびは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意をして日頃から中性洗剤でこまめにお手入れしてください。さびの発生を防ぐことができます。
（注意）海岸地帯、工業地域などの環境では比較的早くさびが発生し、台風通過時には内陸部まで海岸地帯同様の塩害が発生します。このような場合には、さびが発生する前にこまめにお手入れ（清掃）する必要があります。

(3) お手入れの目安

- 下表は1年あたりの清掃回数の目安となります。

材質 \ 環境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレス（素地）	10～20	6～10	4～8	2～4
アルミ（クリア塗装）	1～4	1～3	0.5～2	0.5～1

ワイドシャッターS C・Fタイプ 電動タイプ 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合
には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束する
ものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場
合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご
依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管
してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電話 ()	

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 1. 保証者**
株式会社LIXIL
 - 2. 保証の対象者**
当該商品の所有者
 - 3. 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
 - 4. 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正な
使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示
する免責事項を除き、無料修理いたします。
 - 5. 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装
部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品
及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入さ
れた日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
 - 6. 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取
付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの
不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる
腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐
食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の
養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法
からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因す
る不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内
容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り
付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷
地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
 - ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさ
くれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣
化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および
電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
 - ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干
割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
 - ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例え
ば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
 - ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐
食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤
煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが
付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不
具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
 - ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地
盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生し
た場合の不具合。
 - ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で
生じた不具合。
 - ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植
物の害、またはそれに関する不具合。
 - ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し
含む)に起因する不具合。
 - ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使
用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
 - ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。
- ※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最
寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせく
ださい。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、
お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる
品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの
『プライバシーポリシー』(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧ください。

取説コード

UD122

JZZ626339C
201403A_1039
201706D_1039